

指導農業士会活動報告

第2号 平成27年12月

■平成27年度中国四国地域農業士研究会に参加

平成27年度中国四国地域農業士研究会が平成27年11月5日～6日、鳥取県の皆生グランドホテル天水で開催され、広島県指導農業士会から6名が参加しました。

開会式では、中国四国指導農業士連絡協議会会長兼鳥取県指導農業士連絡協議会会長の坪倉勝幸さんが主催者あいさつを行い、その後、中国四国農政局鳥取支局 中村裕一支局長、鳥取県農林水産部 安養寺寿一次長の来賓祝辞がありました。

続いての研究会では、講演、事例発表、意見交換が行われました。講演では、「人が人と係る担い手の育成を目指して」と題して、公益財団法人鳥取県農業農村担い手育成機構の上場重俊理事長から、「担い手育成をはじめとした農業振興には、人と人とのつながり・信頼関係が大切」と話がありました。

事例発表は、「女性の立場で農業経営に携わって」鳥取県指導農業士 鳥飼育子さん、「ブロッコリー大規模経営への取組と次世代育成」鳥取県指導農業士 林原博寿さんのお二人から、これまでの取組について話がありました。

最後に、グループ毎に分かれて「担い手育成にどう取り組むのか」というテーマで、他県の農業士等と意見交換を行いました。

一日目の日程を終え、夕食時の情報交換会では、各県・地域の特徴ある農業や担い手の育成の現状について、より深い情報を交換しあいました。

二日目は、①水稲・野菜コース、②果樹・花卉コースの2コースに分かれて現地研修を行いました。

①水稲・野菜コースでは、白ねぎ専作大規模経営（個人経営体）と水稲100ha規模の和牛複合経営（法人経営体）を視察しました。両経営体ともに、地域との信頼関係を大切にされており、その結果、農地と人（雇用者）が集まるということを感じました。



次年度の開催県は愛媛県です。多数の参加をお待ちしています。